

2024. 11. 13 前期課程 1 年生が遊びにきたよ

今日は、1 年生が幼稚園に遊びに来ました。

事前の 1 年生の先生と相談し、今回は児童らに幼稚園で思い切り遊んでもらおうということになりました。

朝、幼稚園の玄関で迎えると「先生！きたよ！」「懐かしい！」と嬉しそうな 1 年生。そして手には虫網と虫かごを持って、やる気満々の子たちも多くいました。

好きな遊びの時間で、幼稚園の子供たちはすでに自由に遊んでいます。みんなで挨拶を終えると、さっそく遊びスタート。1 年生はそれぞれに自分のやりたい遊びに散らばっていきます。

サッカーをする 1 年生、そこに「いれて！」と入る年少、年中児。1 年生の男の子たちは優しく受け入れ、一緒に遊びます。昨年、サッカー好きな子が多かったのですが、その姿は全く変わりません。楽しそうに、そして真剣にボールを追いかけています。

泥団子広場では、1 年生の子と在園の子たちが泥団子を作っています。ちょっと大きい泥団子を作っている 1 年生を見て、負けずと団子を固めていく姿も。その横では、1 年生と年少児がさら砂づくりを楽しんでいます。色水広場では、花を摘んで色水づくりを楽しんでいます。附幼出身の子が、他園出身の子に「この道具を使うんやよ」と教えている姿もあり、また「私も保育園で作ったんだ！」と話している姿などもあります。みんなそれぞれ幼児期に経験したことを思い出しながら、遊びを楽しんでいます。

年長保育室の中では、年長児が今流行中の鉄棒遊びを一緒に楽しんでいます。「鉄棒カード作ってもいい？」と 1 年生も自らカードを作って遊んでいます。そして、いろいろな技を見せてくれます。それを見ながら、負けずに年長児らも技を繰り出していきます。お互いに刺激を受けながら楽しんでいます。

砂場では、1 年生の女の子が年中児の手をとり、「何して遊ぼうか？一緒に遊ぼう！」と声をかけている姿も見られます。

さらには、「しいたけはどうなったの？また生えてきた？」ときのこの森を見に来る子も多かったです。去年キノコの森でしいたけを収穫して焼いて食べた経験、日々お世話をしてきた経験などが思い出されます。

そして、去年担任だった先生、お世話になった先生に会えたことも嬉しそうです。それは教員側も同じ。1 年生にこんな勉強しているんだよといろいろ話してくれる姿に教員も頼もしさと嬉しさを感じます。

好きな遊びの後は、みんなの時間を年長、1 年生で一緒にしました。

色水を作った 1 年生が、作った色水を太陽光に照らすともっときれいに見えることを紹介し、「光が入ると透けて見えるからきれいに見えるのかな？」「色によってきれいに見える見え方が違うよね」と年長児と 1 年生が意見を交えていきます。チェリーセージの花を吸った 1 年生の話を聞きながら、みんなで色水色場に行くと、ミントの葉っぱがいい匂いであることに気付いたり、実際に触っていく中で、そこからローズマリー、ドクダミなどいろいろな匂いがする葉っぱがあることに気付いたりとさらに気付きが広がっていきます。また鉄棒の技を共有し合う姿も見られました。

いつもの幼稚園の生活の中に、1 年生が遊びにくる。

特別な交流ではないけれど、特別じゃないからこそ、子供たちなりの自然な人と人の関わりが生まれているようにも思えます。そして、自分のやりたいこと、好きなことを楽しむ中での関わりは、自然と温かさを生み、また笑顔があふれるんだなとも感じました。

1年生生活にもすっかり慣れたこの時期に、改めて幼稚園時代の遊びをめいっぱい楽しむ。自分の成長を改めて感じる機会になり、そして安らぎになった子もいたかもしれません。

いつでも遊び来れる幼稚園、そしていつもそばで見守ってるよ、応援してるよという安心感。いろいろな機会を通して、1年生の子たちにとってそのような存在の幼稚園でいれるといいなと思います。

